

各検査におけるOBD検査の要否について

令和6年10月1日（輸入車は令和7年10月1日）から、令和3年10月1日以降の新型車を対象に自動車の検査（車検）時に電子装置の故障の有無を判定するいわゆる「OBD検査」が開始されたところです。

OBD検査の対象となる検査については、継続検査のみならず中古新規検査なども含まれるため、この度それぞれの検査について、OBD検査の要否を国土交通省より下記表のように整理されたものが展開されましたので、参考にしてください。

OBD検査対象車に対する各検査について、OBD検査の要否は以下のとおり。

車両の分類※	検査種別	OBD検査の要否
新車	新規検査	受検日にかかわらず不要
	予備検査	
使用過程車	新規検査（中古）	受検日が以下のいずれにも該当しない場合、必要 ・自動車検査証、登録識別情報等通知書または自動車検査証返納証明書に記録されたOBD検査開始年月日より前 ・初度登録年月（初度検査年月）から10ヶ月以内
	予備検査（中古）	
	構造等変更検査	
	継続検査	

※車両の分類について、それぞれ以下のとおり。

- ・新車：自動車検査証の交付を受けたことがない自動車
- ・使用過程車：自動車検査証の交付を受けた自動車又は一時抹消登録を受けた自動車

＝研修・講習会＝

外国人自動車整備技能実習評価試験の報告について

（一社）山梨県自動車整備振興会にて外国人自動車整備技能実習評価試験が行われ、その結果は下記のとおりです。

実施日	初級学科試験			初級実技試験		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
2月 8日（土）	4	4	100	4	4	100

実施日	専門級学科試験			専門級実技試験		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
2月 15日（土）	5	5	100	5	5	100